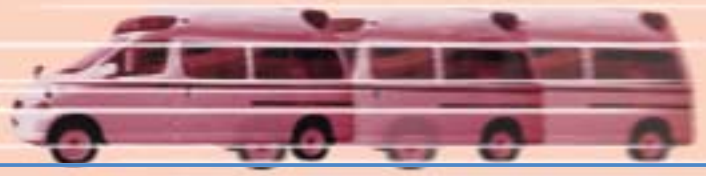

「広域的な林野火災の発生時における消防活動体制のあり方検討会」の発足

特殊災害室

1 目　的

広域的な林野火災が発生した場合において、消防活動等を行う関係機関での情報共有・伝達及び連携のあり方、住民に対する広報・情報提供のあり方、また活動時における偵察・情報収集手段としての無人航空機（UAV）の利用可能性について検討を行い、林野火災発生時の消防体制の整備を図り、被害の低減に資することを目的として、「広域的な林野火災の発生時における消防活動体制のあり方検討会」が発足しました。

2 検討項目

（１）林野火災発生時における関係機関の連携のあり方

林野火災が発生し広域化（大規模化）した場合、関係機関が一体となった活動を行うための情報収集・伝達、情報共有・連携のあり方について検討を行います。

（２）住民に対する広報・情報提供等のあり方

林野火災が広範に拡大した場合や道路交通やライフラインへの影響が危惧される場合の住民に対する火災の状況等の広報・情報伝達のあり方、居住区域に延焼する恐れがある場合の早急な危険区域の把握及び避難勧告・指示のあり方について検討を行います。

（３）UAVの活用可能性

林野火災における情報収集手段として、無人航空機（UAV）の一種であるカイトプレーンの活用可能性について検討を行います。

3 今後の予定

消防庁では、検討会の中で前述の検討項目について検討を行い、本年度中に報告書を取りまとめる予定です。

広域的な林野火災の発生時における消防活動体制のあり方検討会委員

（五十音順・敬称略）

内野　　勝	大月市消防本部 消防課長
倉田　安生	福山地区消防組合消防局 警防部長
小坂　利夫	玉野市消防本部 消防署長兼消防本部警防課長
後藤　義明	独立行政法人森林総合研究所 気象環境研究領域チーム長
笹本　勝相	山梨県 総務部消防防災課長
佐渡　忠典	広島県 県民生活部危機管理総室長
重松　秀行	消防庁 国民保護・防災部防災課応急対策室長
瀬戸　宣久	林野庁 森林保護対策室長
田村　裕之	消防庁消防大学校消防研究センター 火災災害調査部調整官
深澤　雅貴	防衛庁 運用企画局事態対処課 国民保護・災害対策室長
藤田由紀夫	気象庁 予報部予報課防災気象官
村上　直実	香川県 防災局危機管理課長
山崎　一樹	消防庁 予防課特殊災害室長
山下　邦博	元消防庁消防研究所（現消防大学校消防研究センター） 第一研究部長（消防庁消防大学校客員教授）